

# 新潟の独特遺産である六斎市を通じた地域振興メニュー開発(Ⅱ) ～六斎市の現況調査と六斎市ツアー実証実験～

(正) 吉田秀樹 (八千代エンジニアリング株式会社)

## 1. まえがき

新潟県の信濃川・阿賀野川流域・日本海沿岸等に定期市(六斎市)が60か所以上存在する。特に水運・海運の港のあった在郷町や湊町に多数存在する。六斎市は近代まで全国に存在したが、現在では新潟県・秋田県・愛知県等一部地域だけで、多数存在するのは新潟県のみである。新潟県の六斎市には現在も多数の買い物客が訪れ、地域振興メニューとして有望と考えられる。

一方新潟県において、近年六斎市に関する全体的調査は実施されていない。出店者も高齢化し、現在のうちに記録に残すことが急務である。

このため、新潟の独特遺産である六斎市について、中部地方の六斎市等調査を通して、新潟の六斎市の独特性を明らかにし、令和3年度の実証実験から深化した、有料「六斎市ツアー(社会実験)」及び首都圏対象有料「六斎市ツアー(社会実験)」を企画し、地域振興メニューを提案した。

注)市には、毎日市、週市(曜日開催)、六斎市(月6回開催)、三斎市(月3回開催)、年市(毎年特定の日に開催)がある。六斎市とは、例えば2,7,12,17,22,27のように、2と7の付く日、月に6回に市が立つ定期市。中世より見られる。今回の調査対象は、毎日市、週市、年市を除いた定期市。

## 2. 研究内容

### 2.1. 研究の構成

研究内容として、令和3年度は、全国の六斎市調査のうち、秋田県横手地域の調査、県内の定期市の悉皆調査と分析、「六斎市買い物・交流ツアー」(実証実験)の企画・実施・分析、地域振興メニューの提案を行った。<sup>1)2)3)4)</sup> 令和4年度は、全国調査については、秋田と並び定期市が盛んな中京の三河、四日市地域の調査、海外としてパリを実施した。「六斎市ツアー(社会実験)」については、新潟市民対象有料「六斎市ツアー(社会実験)」及び首都圏対象有料「六斎市ツアー(社会実験)」を企画し、地域振興メニューを提案した。

### 2.2. 六斎市調査(全国)

#### (1) 現地調査(三河地区(豊橋、岡崎、半田)、四日市市、パリ市)

令和4年度は愛知県三河地区、三重県四日市市の調査を実施した。さらに、フランスパリのマルシェを調査した。

##### ①現地調査(三河地区) 実施日 豊橋 令和4年6月9日(木)、 岡崎 令和4年11月12日(土)、半田 令和4年11月13日(日)

六斎市等定期市が残っている豊橋、岡崎、半田の各々、四九市、二九市、三八市の現地調査及びの愛知大学教授のヒアリングを実施した。(写真1)

##### ②現地調査(四日市地区) 実施日 令和4年9月2日(金)

四日市市の六斎市ではないが十二歳市の定期市である三滝川慈善橋市場の現地調査及び四日市市市役所のヒアリングを実施した。(写真2)

##### ③現地調査(フランス、パリ市) 実施日令和4年8月6日(土)、 8月7日(日)

別件でパリに行く機会があったので、パリのマルシェ2カ所について簡単な調査した。(写真3,4)

#### (2) 結果と課題



写真1 岡崎六斎市の様子



写真2 四日市定期市の様子

全国調査でわかったことは以下の通りである。新潟における定期市の全国的に見た場合の独特性が確認できた。

①三河地域の岡崎、豊橋及び四日市等中部地域の六斎市等定期市は近代や戦後など新しい市が多い。

②出店の方法は、周辺の定期市を巡回する新潟と同様の出店者が多い。一方農家の出店者が新潟に比較し少ない。

③通りの整備や朝市の看板が立つなど環境整備もなされている市もあるが、出店者の減少は著しく、新潟地域の定期市より衰退が進んでいる。

④出店者の状況は、野菜、鮮魚等もあるが、だんごや飲み屋など屋台的な出店や卵・お茶など地域の特産品の出店も見られた。

⑤パリのマルシェは新潟と同様定期市であるが、曜日ごとの開催で、週2回（月8回）の開催である。野菜・果物。さらに肉・乳製品が多い。通りもしくは公園で開催されている。出店者も多く日本より賑わいがある。

### 2.3. 六斎市調査(新潟)

#### (1) 実施内容

令和3年度の悉皆調査結果を基に六斎市の実態や新たな動きの現地調査、首長の意向ヒアリングを実施した。(写真5～7)

#### ①新潟県現地調査(加茂、見附、新津、水原、吉田、中条、三条)

令和3年12月9日加茂六斎市、令和4年3月8日見附六斎市、4月26日新津六斎市、6月14日水原六斎市、7月26日、10月16日吉田六斎市、9月13日中条六斎市、10月2日三条六斎市を現地調査した。6月13日には三条市役所ヒアリングを実施した。

#### ②新潟・見附市長との意見交換

令和4年3月11日見附市長を表敬訪問、令和4年11月16日新潟市長（中央区長、南区長同席）と意見交換を実施した。

#### (2) 結果と課題

調査結果として以下のことがわかった。

①各六斎市も現在も行われているが出店者の減少が著しい。

②駅前観光案内板に六斎市の案内がないものがほとんどである。

③マルシェや街歩きなど新しい取り組みの六斎市も見られる。(三条、吉田、中条)

④大学生の協力や出店のある六斎市も見られる。(三条、吉田、中条)

⑤首長との意見交換の結果六斎市に関心が高い。

### 2.4. 現地集合方式による新潟市民対象の有料六斎市ツアー(社会実験)の実施(新津)

#### (1) 必要性

今回の実証実験は以下の項目を確認するとともに、令和3年度の結果から新たに⑤⑥の2項目を確認するために実施した。

①六斎市・水運と関係した町の発展に関して新潟市民に認識されているか。



写真3 パリマルシェの様子



写真4 パリマルシェの様子



写真5 加茂六斎市の様子



写真6 吉田六斎市の様子



写真7 三条六斎市の様子

- ②六斎市ツアーが魅力的か。
- ③水運との関係も考慮した町歩きとセットになった六斎市ツアーが可能か。
- ④六斎市ツアーが地域振興のメニューとなるか。
- ⑤昼食付き・有料の六斎市ツアーが受け入れられるか。
- ⑥現地集合の六斎市ツアーが受け入れられるか。

**(2)実施内容 (表 1, 写真 8)**

時期としては、旬の野菜・果物が出回る秋とし、六斎市開催と土曜もしくは日曜が重なる日時設定とした。昨年より1ヶ月早くした。行程は表1の通り。料金は2,200円。「市報にいがた」で20名募集したが、参加者は11名だった。(1)の6項目に関する項目を主に表2のアンケートを実施した。

**(3)結果と課題**

参加者へのアンケート調査結果からわかった結果と課題は以下の通り。

**(六斎市ツアー)**

- ①参加者にはツアーは好評。昼食付き有料は好評。これからもこの方式がよいと考えられる。

**(六斎市に関して)**

- ①「六斎市自体知らない」及び「新潟が全国で最も六斎市が多いことを知らない」人が半数程度だった。
- ②新潟市民でも知らない人が多く、PR や六斎市ツアーは必要である。

**(地域振興に関して)**

- ①六斎市は地域振興に役立つ。PR と「街歩きとの連携」「店舗を増やす」が不可欠である。

**(課題)**

- ①ツアーの募集方法の改善が必要である。(有料の説明を明確にする)

**2.5. 県外住民(関東地域)に対する有料六斎市ツアー(社会実験)の実施。葛塚対象**

**(1)必要性**

2.4 の新潟市民対象のツアーに対し以下の①②が県外住民(関東地域)に対してどうなのか確認する必要があった。

- ①六斎市ツアーが県外住民(関東地域)に対して魅力的か。
- ②六斎市・水運と関係した町の発展に関して県外住民(関東地域)に対して魅力的か。

**(2)実施内容 (表 3, 図 1)**

時期としては、旬の野菜・果物が出回る秋とし、六斎市開催と土曜もしくは日曜が重なる日時設定。昨年より1ヶ月早くした。行程は表3の通り。料金は全日宿泊込みで6,000円とした。新潟までの交通費参加者負担とした。

図1に示す募集チラシを作成した。旅行会社が作成するチラシと同様旅行条件等が掲載されている。このチラシを新潟県・新潟市関係公的機関等にPRをお願いし、さらに筆者の個人的つながりで参加者の募集を行った。

**表 1 新津六斎市ツアー行程表**

新津六斎市モニターツアー
2022.10.1 土曜日
9:00 新津駅集合
9:10 六斎市見学
9:50 アキハ観光案内所で荷物預かり
10:00 町歩き 3グループ
12:30 昼食 割烹枱形
13:15 御菓子司 羽生 土産受け取り
13:30 アキハ観光案内所で荷物受け取り・解散

**表 2 アンケート項目**

調査票調査項目
質問 1 新津六斎市ツアーについて(料金含む)
質問 2 六斎市について
質問 3 新津六斎市について
質問 4 六斎市と河川水運について
質問 5 六斎市の地域振興への可能性について



**写真 8 新津六斎市ツアーの様子**



**図 1 募集チラシ**

20名募集したが、応募は15名、参加者は13名だった。  
 (1)の5項目に関する項目を主に表2と同様のアンケートを実施した。

**(3)結果と課題**

参加者へのアンケート調査結果からわかったことと課題は以下の通りである。

**(六斎市ツアー)**

①参加者にはツアーは好評だった。昼食付き有料としても好評である。これからもこの方式がよいと考えられる。価格については交通費込みで2万～3万円までがツアー料金として適正価格。

**(六斎市に関して)**

①首都圏では全く知名度がないことがわかった。PRや六斎市ツアーは必要である。

**(地域振興に関して)**

①六斎市は地域振興に役立つ。PRと「街歩きとの連携」が不可欠である。

**(課題)**

- ①飲食できるテーブルや買った物を宅急便で送れるシステムが必要。もし他県の人を観光に呼ぶなら民芸品、土産物の充実が必要。旅行者にとって珍しい食材にはレシピもあるとよい
- ②対象を誰にした市とするかの検討が必要。全てか若者か等。地元対象の六斎市か、観光の六斎市か。地元としても、本当の地元なのか、県民を対象としたものなのか。
- ③関東地域については、募集・広報は公的機関とともに、広く募集するため、在京の旅行会社によるツアー企画が必要となる。

**2.6. 地域振興メニュー検討の留意点**

表4示す六斎市の性格付けを十分行った上で昨年度提案した「地域振興メニュー」を実施することが重要である。

表4 六斎市の性格付けの要素

居住地域	①六斎市開催地住民	②新潟県民対象	③県外住民他を対象
年齢層	①高齢者	②若者	③全て
目的	①日常買い物	②観光	③両方

**3. おわりに**

令和4年度の調査結果から新潟六斎市の全国の中での独特性が確認でき、外国と我が国の定期市の差も明らかとなった。六斎市ツアーについては、有料でも成立し、関東地域住民対象の六斎市ツアーの実施からは、地域振興に役立てる場合六斎市の性格付けが重要であることがわかった。令和5年度は当該調査の最終年として、六斎市ツアーに坂道等町歩きのメニューを増やすとともに、新潟県および新潟市の定期市マップを作成し、広く国民、県民、市民に六斎市が浸透するよう活動したい。

この調査は(一社)北陸地域づくり協会の「北陸地域の活性化」に関する研究助成を受けています。

**参考文献**

- 1)新潟みなとクラブ, 2022: 新潟の独特遺産である六斎市を通じた地域振興メニューの開発, 新潟みなとクラブ
- 2)新潟みなとクラブ, 2022: 六斎市調査(新潟)調査票による現況調査報告書, 新潟みなとクラブ
- 3)吉田秀樹, 2022: 新潟地域の独特遺産である定期市(六斎市)の現状調査と将来に関する一考察, 土木学会 2022年度年次講演会
- 4)吉田秀樹, 2022: 新潟の独特遺産である六斎市を通じた地域振興メニュー開発, 日本沿岸域学会 2022年度研究討論会

表2 葛塚六斎市ツアー行程表

葛塚六斎市モニターツアー
2022.10.15 土曜日
8:30 新潟東映ホテル出発
9:00 葛塚六斎市見学
10:00 葛塚街歩き
11:40 DHC酒蔵 2グループ
12:30 昼食 割烹大倉屋
13:35 福島湯



写真9 葛塚六斎市ツアーの様子